

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 4月23日(火) 14350号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月79,200円 外電配信料 12か月92,400円
 6か月39,600円 6か月46,200円

建具実績2月

生産・出荷 前年同月割れ
 1月比は微増に

サッシ協会

一般社団法人日本サッシ協会(吉田聡理事長)はこのほど、金属製建具の2024年2月生産・出荷実績を発表した。

このうちアルミニウムの生産は19,110トン、前年同月比95.7%、出荷は21,209トン、同97.2%、出荷金額は34,108百万円、同98.2%と、3.5ポイント前後のマイナスとなった。前月の1月比ではそれぞれ0.5%、2.9%、3.0%のプラスとなっている。公表された一覧表の一部を掲載。

Nikkan Kinzoku

home.



金属製建具実績 2024年2月

(一社)日本サッシ協会
 単位:トン、百万円

	生産					出荷					出荷金額					
	2023年2月	2024年1月	2024年2月	前月比	前年同月比	2023年2月	2024年1月	2024年2月	前月比	前年同月比	2023年2月	2024年1月	2024年2月	前月比	前年同月比	
アルミニウム	アルミサッシ計	8,971	8,356	8,351	99.9%	93.1%	10,377	9,904	10,059	101.6%	96.9%	19,729	18,922	19,165	101.3%	97.1%
	木造住宅用アルミ	2,693	2,391	2,453	102.6%	91.1%	3,190	2,909	3,077	105.8%	96.5%	5,188	4,856	5,076	104.5%	97.8%
	” アルミ樹脂複合	1,860	1,731	1,683	97.2%	90.5%	2,340	2,070	2,086	100.8%	89.1%	4,537	4,144	4,184	101.0%	92.2%
	木造住宅用合計	4,553	4,122	4,136	100.3%	90.8%	5,530	4,979	5,163	103.7%	93.4%	9,725	9,000	9,260	102.9%	95.2%
	サッシビル用	4,418	4,234	4,215	99.6%	95.4%	4,847	4,925	4,896	99.4%	101.0%	10,005	9,922	9,905	99.8%	99.0%
ステンレス	F A	1,277	1,187	1,210	101.9%	94.8%	1,383	1,265	1,306	103.2%	94.4%	3,875	3,599	3,737	103.9%	96.4%
	エクステリア	6,959	6,631	6,959	104.9%	100.0%	7,230	6,507	7,131	109.6%	98.6%	8,411	7,824	8,585	109.7%	102.1%
	アルミニウム製室内建具	2,766	2,847	2,590	91.0%	93.6%	2,835	2,934	2,713	92.5%	95.7%	2,722	2,763	2,621	94.9%	96.3%
アルミニウム製計	19,973	19,021	19,110	100.5%	95.7%	21,825	20,610	21,209	102.9%	97.2%	34,737	33,107	34,108	103.0%	98.2%	

新体制で出発

会長は岡田浩一郎氏 (岡田金属工業)

副会長に林泰伸氏 (林金属工業所) と

林由紀氏 (大阪亜鉛工業)

関西亜鉛工業会

関西亜鉛工業会(清川昇副会長)の2024年度総会が4月17日、大阪市中央区のホテルで開かれ、今回退任した清川会長(株式会社清川亜鉛工業所社長)の挨拶のあと、会計報告、一般概況説明、各社の報告を行った。

この後、役員改選が行われ、新会長に岡田金属工業株式会社の岡田浩一郎社長、副会長には、株式会社林金属工業所の林泰伸社長(留任)と、大阪亜鉛工業株式

会社の林由紀社長が選任された。任期はそれぞれ2026年総会まで(2年間)。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)

日刊金属LINE公式アカウントでは建値情報などを随時お知らせします。右のQRコードをスキャンしてください。





コロンビア：大統領が地下資源採掘に「頭脳は必要ない」と発言、関係者が猛反発

9~10日の現地報道によると、Petro大統領が全国コーヒー生産者総会で「採掘といっても大した仕事があるわけではない。地下にあるものを石炭、石油、金、ニッケルと呼ぶが、その採掘に事実上頭脳は必要ない」と発言。激しい反発を招いている。

鉱業労働者らが「我々は仕事に頭脳も心も使う」とスローガンを掲げキャンペーンを開始、業界が高度な資格を持つ専門職で構成されていることを強調した。

エネルギー地質学者・地球物理学者協会(ACGGP)は、大統領の発言は天然資源の探査開発に携わる専門家の信用を傷つけるものと指摘、発現の」拒否を表明した。

G X推進機構の設立を許可 理事長に筒井・経団連副会長

経産省

経済産業省はこのほど、脱炭素成長型経済構造移行推進法に基づき、G X推進機構の発起人から認可申請のあった同機構の設立を認可、同機構の理事長に日本経済団体連合会副会長の筒井義信・日本生命保険相互会社代表取締役会長を内定したと発表した。

GX推進機構は、今後10年間で150兆円超のGX投資を実現するため、債務保証等の金融支援、排出量取引制度の運営、化石燃料賦課金等の徴収を行う。業務は7月開始。

発起人は、十倉雅和・一般社団法人日本経済団体連合会会長、福留朗裕・一般社団法人全国銀行協会会長、伊藤元重・東京大学名誉教授、白石隆・熊本県立大学特別栄誉教授。

筒井氏は、京都大学経済学部卒、日本生命社長を経て現会長。



CKサンエツグループ

サンエツ金属株式会社

(4月9日付)

新日東工場製造課長(新日東工場製造課総括課長代理)堀口貴司 ▷新日東工場設備課課長(砺波工場設備管理室長)一守忠 ▷営業本部名古屋支店課長代理(営業本部名古屋支店係長)中筋聖 ▷砺波事業所技術部門開発課課長代理(砺波事業所技術部門開発課係長)宮崎雅士 ▷新日東工場製造課課長代理(新日東工場製造課製造1係係長)郡司悟 ▷新日東工場設備課課長代理(新日東工場設備課総括係長)松林朋幸

シーケー金属株式会社

(4月9日付)

めっき事業本部製販管理課課長代理(めっき事業本部製販管理課付帯作業係係長)中村雅人

株式会社リケンCKJV

(4月9日付)

継手工場副工場長(継手工場設備管理室長)中村広輝 ▷継手工場製造課長(継手工場製造課総括課長代理)安中崇



鉛滓・鉛管板屑

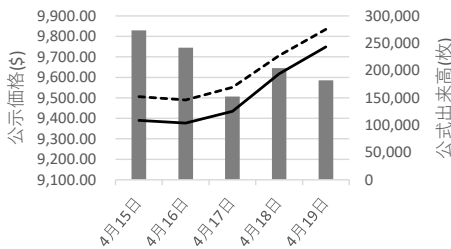
株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

LME公式値週間推移 4月15日~4月19日(現地)

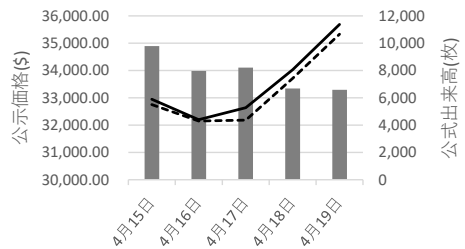
LME銅AG



	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日
出来高	273,503	241,680	152,284	204,428	182,199
直物	9,390.00	9,377.00	9,434.00	9,617.00	9,749.00
先物	9,506.00	9,490.00	9,551.00	9,706.50	9,834.00

出来高 直物 先物

LME錫HG



	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日
出来高	9,794	7,976	8,216	6,683	6,588
直物	32,950.00	32,200.00	32,640.00	34,025.00	35,685.00
先物	32,750.00	32,150.00	32,185.00	33,710.00	35,325.00

出来高 直物 先物

※4月19日の出来高は速報値です。



経産省 (124)
資源開発の高難易度化を見据えて
コバルトリッチクラスト
～「海洋エネ・鉱物資源開発計画」改訂(下)～

第6章 マンガン団塊及びレアアース泥

6. 1 マンガン団塊

(1) 背景

マンガン団塊は、直径 2cm～15cm の球形ないし楕円形を呈し、銅、ニッケル、コバルト等の有用金属が含まれており、水深 4,000m～6,000m の大洋底の堆積物上に分布している。特に、ハワイ沖やインド洋の深海底に広く分布している。我が国はISA(国際海底機構)と探査契約を締結し、現在の契約期限は2026年6月である。

(2) これまでの取組み

我が国では、開発に向けた資源量の把握及び技術的・経済的検討を進めており、これまでに資源量調査分野では予測資源量の把握、採鉱・揚鉱分野ではクローラ方式の走行試験装置の製作及び揚鉱システムの基礎的検討、製錬分野では既存製錬所を活用した製錬プロセスの検討及び乾式工程のスケールアップ試験、環境分野では広域での環境調査を進めている。

(3) 課題

資源量調査分野では資源量の精緻化、採鉱・揚鉱分野では採鉱方法の検討、軟弱地盤上で採鉱するためクローラ方式の走行試験装置での走行データの取得及び最適な採鉱・揚鉱システムの構築、製錬分野では乾式工程で得られる中間産物から有価金属を回収するためのプロセス確立、環境分野では採鉱に伴うブルームの発生が環境に与える影響の把握など、環境影響評価に向けた検討が必要である。

また、国内外における技術開発動向を把握した上で、全体システムについて構築する必要がある。現在、ISAで進められている、国際ルール作りにも貢献するとともに、2026年6月の探査期限に向けて探査契約の延長についても検討する必要がある。

(4) 今後の取組み

ISAの探査規則に定められたルールに従い、資源量調査分野では高い密度でのサンプリング調査による資源量の精緻化、採鉱・揚鉱分野では製作した試験装置を用いた走行試験等の実施、製錬分野では中間産物からの金属回収の条件検討、環境分野では環境影響評価に向けた調査・検討を行う。

また、国内外における技術開発動向を調査し、我が国で保持・開発すべき技術を明らかにするとともに、他国技術の導入可能性を検討して、最適な全体システムの構築に取り組み、これらの結果を踏まえた経済性の評価を行う。

ISAでの国際的なルール作りにも貢献する。探査契約期限の到来に当たり、上記取組の成果及び国際的な動向も踏まえて探査契約の延長を検討する。

6. 2 レアアース泥

(1) 背景

近年、新たに資源としての可能性を指摘されているレアアース泥は、水深5,000m～6,000mの大洋底の一部において、総レアアースを数千ppm以上含む堆積物であり、我が国の南鳥島周辺の大陸棚でもその存在が確認されている。レアアースは、再生可能エネルギー等の我が国の先端産業に不可欠な元素であるが、その供給が特定国の政策に影響を受けやすいため、安定的な調達のための新たな供給源の確保が求められているところである。

(2) これまでの取組み

我が国周辺海域のレアアース泥が資源として開発できる可能性が示されれば、安定供給に寄与し、上記産業分野の国際競争力の確保や新用途・産業分野の創出にも貢献すると考えられる。

こうした観点から、SIP第2期海洋課題「革新的深海資源調査技術」(SIP第2期)では、レアアースの大規模賦存有望視された南鳥島海域のレアアース概略資源量評価に必要な調査を行った。さらに、採鉱機器、揚泥管3,000m等の機器類を設計、製作し、茨城沖の水深2,470mからの採鉱・解泥・揚泥試験に成功し、約70トン/日の揚泥実績を達成した。

また、レアアース泥を含む海洋鉱物資源全般の開発に資する揚鉱・揚泥技術としてのエアリフト方式について、200m規模の揚鉱・揚泥試験を通じてシミュレーターを開発するとともに、揚鉱管内の流動様式を把握するための超音波計測技術の適用を検討した。

(3) 課題

現状では、鉱業法に基づく鉱区設定に必要とされる地質情報の取得調査やレアアースが賦存する水深6,000m 海域での採鉱・揚泥技術の実証試験が完了できていないため、完了に向けての追加調査や実証試験の実施が求められる。また、レアアース泥の採鉱から製錬、製品化に向けての効率化・低コスト化を目指したさらなる技術開発が求められる、社会実装に向けたさらなる研究開発が求められるなど多くの課題がある。

また、エアリフトについては、非正常条件を含む様々な揚鉱・揚泥条件を再現できるようシミュレーターの高度化を行う必要がある。また、揚鉱管内の流動様式を把握するための超音波計測技術について、揚鉱試験への導入等を通じた検証を行う必要がある。

(4) 今後の取組み

今後の産業に不可欠とされるレアアースの安定供給に貢献するため、SIP第3期海洋課題「海洋安全保障プラットフォームの構築」(SIP第3期)において、南鳥島海域でのレアアース泥の探査、採鉱、選鉱、製錬、精製の実証試験を実施し、海洋環境と共存した新たなレアアース・サプライチェーン構築に向けた取り組みを加速する。

具体的には、鉱業法に基づくレアアース鉱区設定に必要とされる候補海域における鉱物資源の基盤情報やコア資料の取得と保管を図り、民間企業の参入に必要となる効率化・効果的な採鉱・製錬技術の開発を進め、併せて取得情報及びノウハウを整備し、我が国のレアアース・サプライチェーンに貢献できる目処を立てる。

また、南鳥島周辺の対象海域において、揚泥から製錬までの一連の生産プロセスを実証し、我が国産レアアース資源の産業化・実用化の目処を立てる。

故銅市況

19日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の9,434.00ドルより183.00ドル高の9,617.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,489.70ドルより162.30ドル高の9,652.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,551.00ドルより155.50ドル高の9,706.50ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,585.50ドルより152.00ドル高の9,734.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場5月限は、前営業日の433.95セントより9.70セント高の443.65セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場6月限は、前営業日の7万6,640元より1,030元高の7万7,670元。

19日の東京為替市場TTSレートは、前日の155.46円より0.30円の円安ドル高、1ドル=155.76円。19日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,617.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USDドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の150万4,000円より3万1,000円高の

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(4月19日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1286~1291、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1251~1256、並銅は1216~1226、込銅(高品位=約97%)は1206、セバは870~875。コーペルは要り用筋で811、それ以外は796ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋821、それ以外791~801ごろの値頃。並青銅鋳物削粉は1064~1069ごろ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1266~1286、上銅新くずが1231~1251、普通上銅が1206~1226、2号銅線が1198~1218、並銅が1196~1216、込銅(94-97%)が1144、込銅(90-93%)が1146、下銅が729~779、セバが835~870、コーペルが751~796、黄銅棒地が746~791、黄銅削粉が741~786、黄銅ラジが706~714、交叉ラジが714~771、黄銅銅鋳物が667~674、送りが436~455、上青銅鋳物が1061~1081、並青銅鋳物が1041~1056、上青銅鋳物削粉が1056~1076、並青銅鋳物削粉が1031~1051ごろ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(4月後半)

2S=223円~244円、63S=208円~259円、アルミホイール(1P)=225円~239円、ビス付サッシ=156円~165円、エンジンコロ=154円~166円、込合金(機械鋳物)=157円~165円、缶プレス(ソフト)=151円~163円。

関西地区(4月後半)

2S=247円~249円、63S=240円~274円、印刷版=235円~237円、アルミホイール(1P)=230円~271円、ベースメタル=235円~246円、機械鋳物=150円~154円、ダライ粉=172円~175円、ビス付サッシ=155円~180円、缶プレス=163円~168円。

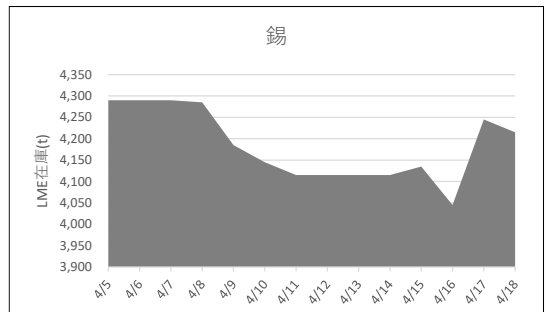
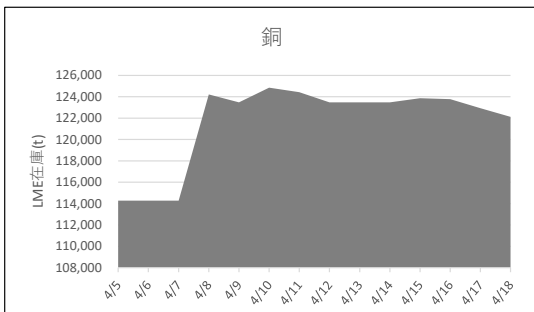
153万5,000円。この日、電気銅建値は154万円に据え置かれた。

為替動向

18日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0650ドル~1.0660ドルで推移した。この日、米国の長期金利が水準を切り下げユーロ買いドル売りが先行した。ただ、ECBの利下げ観測が広がる中、ユーロの下値は支えられた。英ポンドは対ドルで横ばい圏。16時、前日と同水準の1ポンド=1.2440ドル~1.2450ドルで推移。

18日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前日と比べ0.25円の円安ドル高、1ドル=154.60円~154.70円で取引を終えた。この日の朝方発表された、米国の週間新規失業保険申請件数は21万2,000件で市場予想の21万5,000件を下回った。フィラデルフィア連銀が発表した4月の製造業景況指数も+15.5と前月の+3.2から改善、2年ぶりの高水準になった。FRB高官から「利下げ判断は慎重に進めるべき」との発言が相次いだ。19日午前の東京外国為替市場で円相場は下げ渋っていた。10時、前日17時と比べ0.33円の円安ドル高、1ドル=154.60円~154.62円で推移した。中東情勢の緊迫化で米国の長期金利が大きく低下、日経平均株価の急落もあり円は買い戻された。心理的節目の155円台を前に通貨当局による為替介入への警戒感が高まっている。円は対ユーロでは上昇。10時、前日17時と比べ0.30円の円高ユーロ安、1ユーロ=164.47円~164.50円で推移した。

LME認定倉庫在庫量推移 4月5日~4月18日(現地)





LME銅相場は続伸 直物終値は9,797.24ドル

COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場も続伸

LME非鉄相場は全面高 直物終値は亜鉛2,835.52ドル、アルミ2,658.87ドル



20日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、4月19日入電の9,617.00ドルより132.00ドル高の9,749.00ドル。3営業日の続伸で3.97%高。この週3.69%の上伸。4月に入って11.69%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電の9,706.50ドルより127.50ドル高の9,834.00ドル。3営業日の続伸で3.62%高。この週3.14%の上伸。4月に入って11.31%の上伸。LME公認倉庫の現地4月18日銅在庫は、前日の12万2,925トンより800トン減の12万2,125トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、4月限が、4月19日入電の444.05セントより6.15セント高の450.20セント。3営業日の続伸で4.56%高。この週5.74%の上伸。4月に入って12.45%の上伸。5月限は、4月19日入電の443.65セントより6.10セント高の449.75セント。3営業日の続伸で4.51%高。この週5.61%の上伸。4月に入って12.24%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場の5月限は、4月19日入電の7万7,440元より1,440元高の7万8,880元。2営業日の続伸で3.18%高。この週3.78%の上伸。4月に入って9.25%の上伸。6月限は、4月19日入電の7万7,670元より1,310元高の7万8,980元。2営業日の続伸で3.05%高。この週3.69%の上伸。4月に入って9.19%の上伸。

錫も続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、4月19日入電の3万4,025.00ドルより1,660.00ドル高の3万5,685.00ドル。3営業日の続伸で10.82%高。この週8.22%の上伸。4月に入って29.06%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電の3万3,710.00ドルより1,615.00ドル高の3万5,325.00ドル。3営業日の続伸で9.88%高。この7.70%の上伸。4月に入って27.99%の上伸。LME公認倉庫の現地4月18日錫在庫は、前日の4,245トンより30トン減の4,215トン。

鉛も続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、4月19日入電の2,155.00ドルより5.00ドル高の2,160.00ドル。2営業日の続伸で2.08%高。この週0.91%の上伸。4月に入って9.92%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電の2,187.00ドルより1.00ドル高の2,188.00ドル。2営業日の続伸で1.30%高。この週0.55%の上伸。4月に入って9.10%の上伸。LME公認倉庫の現地4月18日鉛在庫は、前日の27万2,200トン

より725トン減の27万1,475トン。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、4月19日入電の2,812.50ドルより20.50ドル高の2,833.00ドル。3営業日の続伸で4.81%高。この週0.53%の下落。4月に入って18.49%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電の2,814.00ドルより29.00ドル高の2,843.00ドル。3営業日の続伸で4.31%高。この週0.21%の上伸。4月に入って16.80%の上伸。LME公認倉庫の現地4月18日亜鉛在庫は、前日の25万7,050トンより850トン減の25万6,200トン。

アルミも続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、4月19日入電の2,600.00ドルより45.50ドル高の2,645.50ドル。3営業日の続伸で5.31%高。この週8.29%の上伸。4月に入って16.54%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電の2,592.00ドルより63.00ドル高の2,655.00ドル。3営業日の続伸で4.73%高。この週6.37%の上伸。4月に入って14.89%の上伸。LME公認倉庫の現地4月18日アルミ在庫は、前日の50万9,250トンより5,250トン減の50万4,000トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、4月19日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。4月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、4月19日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。4月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、4月19日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。4月に入って5.00%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。4月に入って5.00%の上伸。

ニッケルも続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、4月19日入電の1万8,210.00ドルより835.00ドル高の1万9,045.00ドル。3営業日の続伸で8.06%高。この週7.11%の上伸。4月に入って15.21%の上伸。3か月物の前場売値も、4月19日入電の1万8,415.00ドルより845.00ドル高の1万9,260.00ドル。3営業日の続伸で8.08%高。この週6.88%の上伸。4月に入って15.05%の上伸。LME公認倉庫の現地4月18日ニッケル在庫は、前日の7万3,482トンより276トン増の7万3,758トン。

LME公示価格(US\$)／4月19日

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公示価格	9,749.00	35,685.00	2,160.00	2,833.00	2,645.50	1,820.00	2,520.00	19,045.00
	前営業日比	132.00	1,660.00	5.00	20.50	45.50	0.00	0.00	835.00
	週間増減比	3.69%	8.22%	0.91%	▲0.53%	8.29%	0.00%	0.00%	7.11%
先物	公示価格	9,834.00	35,325.00	2,188.00	2,843.00	2,655.00	1,820.00	2,520.00	19,260.00
	前営業日比	127.50	1,615.00	1.00	29.00	63.00	0.00	0.00	845.00
	週間増減比	3.14%	7.70%	0.55%	0.21%	6.37%	0.00%	0.00%	6.88%

海外非鉄金属相場

(4月20日 入電・現地 4月19日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows include: 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, N Y コメックス相場.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table with columns: 品名, 価格, 変動. Rows: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

■N Y相場

Table with columns: 取引業者, 銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

■ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 品名, 価格, 変動. Rows: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タantal 鉱石30-35%(ポンド).

■K L T M 錫 (MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, O Dレート, M \$ / U S \$レート, 採算円/キロ, U S \$採算円/キロ. Rows for (19日) and (22日).

■L M E 在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

■上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

■L M E プレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配, 価格, 変動. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, アルミ, ニッケル.

■上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Rows: 5月限, 6月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

※22日のKLTMは入電なし。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海, 元・円= 21.64. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(4月22日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1890	1845	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F	
建築用0.3ミリ	1940	1895	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	64~66
銅大板2×1×2	2020	2045	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	113~115
銅管(ベース)	1950	2045	鉛板1.5ミリ	600	600	3C×1.6	118~120
水道用管(m当たり)13ミリ	1860	1955	鉛線3ミリ	440	440	3C×2.0	166~169
銅棒25ミリ	1800	1815	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1855	1860	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	34.4~36.6
銅線0.9ミリ	1880	1875	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	94.6~101
銅帯6×50	1760	1815	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	236~250
銅平角線	2080	2045	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1520	1485	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1801~1915
〃 0.3ミリ	1550	1515	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	2782~2957
黄銅大板2×1×2	1670	1665	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	4667~4961
黄銅管	2000	2055	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	2913~3085
復水器用黄銅管	1970	2025	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4090~4332
黄銅棒快削25ミリ	1265	1280	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)	
六角棒	1295	1310	貴金属(一般小口向け)			3C×2	137~140
四角棒	1325	1340	白金(グラム)	◎ 5201		4C×2	184~189
鍛造用	1305	1320	パラジウム(グラム)	◎ 5835		6C×2	262~268
ネーバル	1405	1420	金(グラム)	◎ 13105		7C×2	300~307
高力	1405	1420	銀(キログラム)	◎ 158840		合金鉄 2月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1705	1665	レアメタル輸入価格 2月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	127
黄銅平角線ロール仕上	1905	1875	金属ケイ素(99.99%未満)	370		〃 その他	183.8
黄銅条1.5×100	1515	1500	モリブデン酸化物	4683		フェロシリコン55%以上	248
リン青銅板一般用1.0ミリ	3140	3330	タンタル	79503		フェロクロム4%以上炭素含有	252
〃 パネ用0.3ミリ	3400	3600	マグネシウム	442		フェロモリブデン純分60%以上	4166
リン青銅棒25ミリ	3230	3440	コバルト	5313		フェロバナジウム	2949
リン青銅線3ミリ	3630	3840	インジウム	31474		フェロニッケル33%未満	523
洋白板一般用1.0ミリ	3850	4000				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 パネ用1.0ミリ	3970	4140					

減摩合金	4月16日改定	銅合金地金	4月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5715	BC 1種	1350
2種	5550	2種	1685
3種	5375	3種	1770
4種	4765	6種	1480
5種	4485	7種	1580
7種	1670	YBSC 3種	1180
8種	1460	LBC 3種	1690
9種	1270	PBC 2種	1795


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(4月22日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 47,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値					
1号銅線	1356	1353	電気銅	◎1543	◎1538	◎1545	◎1540	山元建値	電気銅	1540(19)	金	11,860(22)
2号銅線	1314	—	電気亜鉛	468	462	468	462	() 実施日	電気鉛	396(19)	銀	143,760(22)
上銅(新切)	1327	1318	蒸留亜鉛	456	450	456	450		電気亜鉛	496(17)	錫(99.99%)	7,200(18)
雑ナゲット	1176	1179	再生ダイカスト亜鉛2種	392	386	392	386					
並銅	1269	1250	再生亜鉛(98%)	347	341	347	341					
下銅	1250	1222	電気鉛	371	368	371	368					
銅削粉	1230	1222	再生鉛1号	355	345	351	346					
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	359	355	356	352					
新切黄銅セバ	1013	1024	錫1号	5600	5550	5600	5550					
コーベル	977	980	アンチモン	2100	2050	2100	2050					
黄銅棒地	955	968	ニッケル(メッキ用)	3000	2950	3000	2950					
黄銅削粉	949	963	コバルト	5500	5200	5500	5200					
並黄銅	915	880	セレニウム	4100	3900	4100	3900					
黄銅ラジエター	813	797	ビスマス	1600	1500	1600	1500					
交叉ラジエター	863	831	カドミウム	800	750	800	750					
黄銅鋳物	920	—	マグネシウム合金	470	450	470	450					
山送り(55%)	515	—	アルミ地金99.70%	◎457	◎453	◎459	◎455					
上青銅鋳物	1091	—	アルミ二次地金99%	345	340	345	340					
並青銅鋳物	1089	1077	〃 90%	◎320	◎315	◎320	◎315					
上青銅鋳物削粉	1084	—	アルミ二次合金ADC12	436	431	439	434					
並青銅鋳物削粉	1074	1061	鋳物用C2BS	461	456	463	458					
新切リン青銅(仲間)	—	1354	青銅合金地金3種	1790	1780	1905	1895					
〃 (鋳物)	1205	—	〃 6種	1510	1500	1595	1585					
リン青銅削粉	1123	1115	ハンダ錫60%	3835	3795	3855	3825					
新切洋白(電子材)	1135	1122	〃 50%	3315	3265	3335	3305					
新切亜鉛	270	270	〃 40%	2860	2800	2815	2785					
ダイカストくず	187	187	減摩合金2種	5455	5425	5460	5430					
亜鉛ドロス	167	177	〃 4種	4670	4645	4675	4645					
上鉛	◎208	◎206	〃 7種	1575	1525	1575	1525					
電池素鉛ケース込	70	70	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		70	75					
活字鉛	◎187	◎184		〃 ダライ粉		55	60					
新切アルミ1級	◎280	◎283		高耐食ステンレスSUS316		240	240					
新切サッシ1級	◎285	◎281		耐熱ステンレスSUS310		330	330					
新切合金1級	◎271	◎266		13クローム 新切		32	33					
機械鋳物1級	◎226	◎239		ハイス 9種		180	180					
ビス付サッシP	◎247	◎245										
合金削粉P	◎188	◎184										
込ガラP	◎151	◎155										
カン・バラ	◎206	◎193										

